当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-528
研究の名称	外傷患者における認知機能障害と栄養障害の関連に関する単施設後ろ向きコホ ート研究
総研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年 03月31日
試料・情報の利用を 開始する予定日	2025年10月21日
研究の対象	2024年の1月から12月の間に外傷治療のために入院治療を受けられた方
	上記の中で、言語聴覚士によって認知機能評価として、改訂長谷川式簡易知能
	評価スケール、ミニメンタルステート検査の両者、あるいはいずれかを行った
	方、入院時と退院時に栄養評価項目として、アルブミン、コリンエステラーゼ
	検査を行った方。ただし、在院期間が 1 週間以内であったり、死亡退院となっ
	た方は除きます。
研究の目的	外傷患者における入院後の認知機能障害と栄養障害の関連については明らかと
	なっていません。当院では言語聴覚士が嚥下評価とともに認知機能評価も行っ
	ており、入院中に行った認知機能評価の結果と入退院時の栄養状態の関連を調
	べることを目的にしました。
研究の方法	対象患者に関する臨床情報・認知機能評価の結果、治療経過(年齢、性別や外
	傷の詳細、治療内容、治療期間、合併症の有無と詳細)、血液検査で測定できる
	栄養評価項目の結果を電子カルテから集めて、詳細に検討します。
研究に用いる試料・ 情報の種類	情報:電子カルテに記載のある診療記録、認知機能評価の結果、検査データ、
	病歴、治療歴、年齢、性別、外傷の程度や重症度、具体的な治療内容、治療期
	間、合併症の有無と詳細、最終転帰等
個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除
	致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者
	さんを特定できる個人情報は利用しません。

<当院の連絡先>

地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター

所属:救命救急科

お問い合わせ先 研究責任者: 茅田 洋之

住所:大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

TEL: 072-272-1199(代表)

作成日:西暦 2025年08月25日(第1版)